

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、令和2年度福井県公共工事入札監視委員会（第2回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

1 日 時 令和3年1月27日（水） 9：30～11：15

2 場 所 県庁10階 審問廷

3 出席委員 荒井委員、金崎委員、川上委員、清水委員、藤井委員（五十音順）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - 1 入札および契約に係る制度の運用について
 - 2 抽出事案審議
 - 3 談合その他の不正行為に関する事項について
- (3) その他
- (4) 閉会

5 会議概要

(2)-1 入札および契約に係る制度の運用について（令和2年4月1日～令和2年9月30日）

- ・契約件数、落札率の状況について説明
- ・指名停止の運用状況について説明
- ・総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 不調不落になった案件は、随意契約で解消しているのか、それとも再入札をしているのか。

A 不調不落になった案件については、すべて再入札を実施している。

(2)-2 抽出事案審議

ア 抽出事案1

Q 1者応札の理由はなにか。

A 施工難易度が高く、県内で実績のある業者が2者のみであることが要因でないかと推測される。

Q 技術提案の評価項目は他の工事より多いのか。

A 他の工事とほぼ同様である。

Q 失格基準価格はなぜ低いのか

A 失格基準価格は、品質の確保やダンピング対策から、失格基準価格を下回った場合には無条件で失格になるものであり、低入札調査対象工事の場合は、調査基準価格と失格基準価格を設定している。

イ 抽出事案2

Q 事後審査型は開札してから書類の確認をするのか

A 開札してから書類を確認する。

Q 総合評価の件数割合はどのくらいか。

A 一般競争入札全体の約3分の1である。

ウ 抽出事案3

- Q かなり深いところから水を汲み上げる計画だが、広域的な地盤沈下のチェックは行うものなのか。
- A 工事付近の既設井戸の利用状況は調べている。

エ 抽出事案4

- Q 1者応札の理由はなにか。
- A 施工場所が僻地であることや、手持工事が多いことが考えられる。

オ 抽出事案5

- Q ため池の耐震性が不十分だと、どういった問題があるのか。
- A 平成30年7月の西日本豪雨では、ため池が決壊して甚大な被害がでたこともあり、総点検を実施している。
- Q ため池の総点検はいつからしているのか。
- A 昨年に特措法が制定されたことから、全国的に総点検を実施している。

(2)-3 談合その他の不正行為に関する事項について

期間中に談合情報が3件あったことを報告